

● 鉄鋼事業部門 ● 機械事業部門 ● エンジニアリング事業部門 ● 本社

機械事業部門

LNG(液化天然ガス)気化器が マルタ島LNG受入基地で採用



マルタ島LNG受入基地向けLNG気化器

エンジニアリング事業部門

インドネシア共和国で地下鉄向けシステム・軌道工事契約を受注

当社は、三井物産株式会社、東洋エンジニアリング株式会社および同社の現地グループ会社と共同で、同国初の地下鉄となるジャカルタ都市高速鉄道南北線向け鉄道システム一式・軌道工事を約250億円を受注しました。当社は、各社の関連システムを集約し、各機能が正しく動くようにするシステムインテグレーションと、信号・通信設備、自動出改札システム、ホームドア等の設計・供給を担当します。本計画は、急激な経済成長による同地の深刻な交通渋滞緩和および投資環境改善に繋がる基幹インフラ整備を目的にしており、日本の優れた鉄道技術の導入を通じ、同国の更なる経済発展に貢献します。

本社

真岡発電所建設計画が内閣官房「国土強靱化 民間の取組事例集」に選定

当社は、「2013～2015年度 グループ中期経営計画」で、電力供給事業拡大を掲げており、現在、2019年後半からの稼働を目指して、栃木県真岡市で120万kW級のガス火力発電所の建設に向けた手続きを進めています。そのような中、当該発電所建設計画が、内閣官房の「国土強靱化 民間の取組事例集」の事例に選ばれました。

この事例集は、内閣官房が、民間企業の国土強靱化に資する主体的な取組促進に向けた施策展開のために、大規模自然災害に対する民間企業の災害対応力や地域の防災力の向上等に役立つ取組みなどを選定したものです。

本発電所の特徴としては、津波被害の危険のない陸部に立地すること、最新鋭の高効率発電設備による国内最高レベルの発電効率を得ること、既存または計画済のガス幹線・送電網などを活用することが挙げられます。この結果、関東北部への安定的な電力供給を可能にすることに加え、臨海部への依存度の高い首都圏全体にとって貴重なバックアップ電源となることも期待されています。

当社は、本プロジェクトを遅滞なく進め、国土強靱化の一端を担うとともに、社会の発展に貢献してまいります。

2015

(平成27年)

4月

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所の2基目の高効率 自家発電設備営業運転に関する 手続き完了

設備外観



機械事業部門

長寿命で信頼性・環境性の高い圧縮空気蓄電システムの開発に着手

当社は、早稲田大学スマート社会技術融合研究機構、一般財団法人エネルギー総合工学研究所と共同で、「断熱圧縮空気蓄電システム」の開発に着手しました。

再生可能エネルギーは、天候等により出力が大きく変動する欠点がありますが、圧縮空気蓄電システムは、発電した電気のうち余剰分を圧縮空気と熱の形で貯め、必要な際に圧縮空気と熱を使って再び発電するシステムです。これにより不安定な出力を安定させることができます。このように、今回の開発は再生可能エネルギーの問題点の解決方法として取り組むものであり、当社は、圧縮機総合メーカーとしての長年の実績を生かし、圧縮機、発電機、熱貯蔵タンク、空気貯蔵タンク等の機器製造を担当し、2017年度以降の商品化を目指します。

このように、今回の開発は再生可能エネルギーの問題点の解決方法として取り組むものであり、当社は、圧縮機総合メーカーとしての長年の実績を生かし、圧縮機、発電機、熱貯蔵タンク、空気貯蔵タンク等の機器製造を担当し、2017年度以降の商品化を目指します。

6月

7月

エンジニアリング事業部門

アルジェリアにおけるMIDREX®直接還元鉄プラント 新規受注

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所の競争力強化に向けた上工程設備投資決定

加古川製鉄所では2014年4月から脱硫設備2基と脱りん炉1基を備えた新溶銹処理工場が稼働中ですが、この度、2基目の脱りん炉の建設を決定しました。当社のオンリーワン製品の代表でもある、自動車用高張力鋼板(ハイテン)やばね鋼などは、一般的な鋼材より高い清浄度が要求され、溶銹処理によって硫黄やりんといった不純物を除去する必要があります。

新設備は、2017年度に営業運転を開始する計画で、年間20億円強のコストダウンを達成するとともに、稼働後は、脱りん炉2基体制により、従来より大幅な処理時間の短縮と効率化を図ることができ、オンリーワン製品等の高付加価値製品への更なる対応力向上を図ります。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.jp>